

2月11日(土)

第2会場

9:00~10:30

国際会議室

トラブルケースカンファレンス

プログラム
2月11日
午前

【概要】

植込みデバイスのトラブルには、植込み手術に関連するもの、デバイス自体の設定や機能に関連するもの、電磁干渉（EMI）など外部からのデバイスへの影響に関連するもの、さらにはデバイス植込み患者に対するinformed consentやデバイス植込み患者に伴う社会的な問題に関連するものなど様々な原因が考えられる。なかでもデバイスの設定や機能に関連するものはプログラマー上での対応で解決できるものがほとんどで、植込み患者に大きな不利益をもたらすことは少ないが、植込み手術に関連するものは植込み患者の不利益になることが多い。またデバイス植込みの適応、植込みの方法、植込みに伴う合併症、デバイスに対するEMIや植込み後の日常ならびに社会生活に関連する問題などについては他の疾患の治療や手術以上に詳細なinformed consentを行わないと、説明不足からくる植込み患者とのトラブルもあり、お互いの信頼関係に大きな問題が生じる。

我々が取り扱っている植込みデバイスは、患者にとっては生涯共にするものであり、一旦植込んでしまうとよほどのことでない限り取り出すという選択肢は存在しない。したがってできるだけトラブルを起こさないようにしてあげる必要がある。

そこでこの機会にデバイス植込みで起こりうるトラブルを出し合い、トラブルを起こさないようにするにはどうすればよいか、起こった場合どのように対処すればよいかについて討論したいと思う。

〔座長〕 森本 大成 大阪医科大学外科学講座胸部外科
副島 京子 杏林大学医学部付属病院循環器内科

TC-1. VDDリードとICDリードにより3度心穿孔を来した心サルコイドーシスの1例
自治医科大学循環器内科 ○中神理恵子，三橋 武司，渡部 智紀，
甲谷 友幸，旗 義人，荻尾 七臣

TC-2. ICD植込み後の亜急性期に心房性不整脈の出現を契機に発見された心房リード穿孔の1例
浜松医療センター循環器科 ○武藤 真広，佐藤 照盛，高山 洋平，
横田 成紀，澤崎 浩平，森田 康弘，
小林 正和

TC-3. 腸骨静脈アプローチにて恒久式ペースメーカー植込みを行った洞不全症候群の1例

武蔵野赤十字病院循環器科 ○山口 徹雄, 鍵山 暢之, 内藤 貴基,
原 信博, 小西 裕二, 田尾 進,
梅本 朋幸, 前田 真吾, 岡田 寛之,
山内 康熙, 宮本 貴庸, 尾林 徹
武蔵野赤十字病院心臓血管外科 田崎 大, 吉崎 智也

TC-4. CRT植込み時にelectrical stormとなった1例

藤田保健衛生大学循環器内科 ○祖父江嘉洋, 渡邊 英一, 市川 智英,
山本真由美, 針谷 浩人, 奥田健太郎,
可児 篤, 加藤 千雄, 尾崎 行男

TC-5. セットスクリューが緩まずリードがコネクターから外れない問題に対しシンプルに解決しえたデバイス交換術の1症例

旭中央病院循環器内科 ○佐藤 寿俊, 宮地浩太郎, 生津 圭祐,
野口 侑記, サツキヤ サンディーブ,
山下 周, 早川 直樹, 鈴木 洋輝,
藤巻 茂謙, 小寺 聡, 石脇 光,
櫛田 俊一, 神田 順二

TC-6. デバイス外来における非定形的な症状を訴え, 対応が困難であった2例, および適切作動が回避されてしまった不適切作動の1例

筑波大学附属病院看護部 ○梅津 努, 安島良輝子, 助川みや子
筑波大学附属病院臨床工学部 縮 恭一
筑波大学大学院人間総合科学研究科循環器内科 山崎 浩, 関口 幸夫, 冨田 浩,
青沼 和隆